

農業用ため池（前沢ダム）において外来種駆除活動を実施しました。

行事内容

平成21年9月9日（水）午前10時から前沢ダム（可児郡御嵩町）において、外来種駆除活動を実施しました。

前沢ダムは古くから農業用ため池として利用されてきましたが、最近になって外国の生き物が侵入・定着し、我が国固有の生態系を破壊しています。

そこで、農業用ため池を保全するため、ため池管理者や地域住民の方々と一緒に外来種駆除活動を行いました。

主催者

岐阜県可茂農林事務所

参加者

ため池管理者（可児土地改良区）	9名	
“（可児川防災等ため池組合）	2名	
地域住民（津橋自治会）	3名	
御嵩町環境アドバイザー	1名	
ため池工事施工会社	6名	
市町職員（可児市、御嵩町）	8名	
岐阜県職員	11名	計40名

駆除した外来種

ブラックバス、ブルーギル 約1,100匹
外来種は捕獲後、近隣の土地に埋めました。

協賛行事

この活動は、「第30回全国豊かな海づくり大会～ぎふ長良川大会～」の協賛行事及び「COP10（生物多様性条約第10回締約国会議）」のパートナーシップ事業に登録しています。



活動の様子

